

- 問1 多くの都道府県でなすの出荷量が増加する夏から秋にかけては、市場におけるなすの平均価格が下落する傾向にあります。これに対し、高知県は冬から春にかけての出荷量を大幅に増やす戦略をとっていますが、その目的として最も適切な説明はどれですか。 (2025年 三重県公立入試 類似)
1. 他の産地の出荷が少なく市場価格が高騰する時期を狙い、高い利益を得るため

2. 近隣の消費地への輸送コストを削減し、安価で新鮮な野菜を大量に供給するため

3. 夏場に発生しやすい台風の被害を避けるため、収穫時期を半年遅らせるため

4. 冬から春にかけての冷涼な気候を好む特定の品種を、大規模に栽培するため
- 問2 広島県にある世界遺産のうち、海の中に立つ巨大な朱色の鳥居が特徴的であり、背後にそびえる山の自然景観と調和している歴史的建造物はどれですか。 (2026年 島根県公立入試 類似)
1. 白川郷の合掌造り集落

2. 姫路城

3. 厳島神社

4. 金閣寺
- 問3 四国地方の北東部に位置する県、北陸地方の富山県、紀伊半島の和歌山県、九州地方の宮崎県の4つを比較したとき、この中で「日本で最も面積が小さい」という特徴を持つ県はどれですか。 (2023年 富山県公立入試 類似)
1. 香川県

2. 高知県

3. 愛媛県

4. 徳島県
- 問4 徳島県と兵庫県を結ぶ「神戸・鳴門ルート」が、地域の物流や交通において果たしている役割や特徴について述べた文として、適切なものはどれか。 (2024年 京都府公立入試 類似)
1. 鉄道のみを走行させる専用の橋を建設することで、近畿地方への通勤を可能にしている

2. 海を隔てた府県間を高速道路の橋で直結し、徳島県と近畿地方を結ぶ動線となっている

3. 四国内の香川県や高知県との県境を橋でつなぎ、島内の交通を円滑にしている

4. 徳島県から兵庫県を経由せずに、直接大阪府へ渡るための唯一の陸路となっている
- 問5 愛媛県において、みかんをはじめとする果樹栽培が非常に盛んである理由として、自然環境の特色をふまえて説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2019年 兵庫県公立入試 類似)
1. 年間を通じて降水量が非常に多く、常に湿潤な平坦地が広がっているから

2. 大規模な灌漑施設によって水の供給が安定しており、小麦やにんじんの栽培に最も適しているから

3. 冬の寒さが厳しく、病害虫の発生を抑えることができる高冷地が中心だから

4. 瀬戸内海沿岸の温暖な気候に恵まれ、水はけが良く日当たりの良い傾斜地が多いから
- 問6 中国地方の3つの県（I、II、III）における工業産出額の統計において、県IIIは、輸送用機械工業の産出額が約3兆2663億円に達し、化学工業（約4348億円）や鉄鋼業（約1兆1893億円）と比較して圧倒的に大きな割合を占めています。この県IIIにあてはまる県名として正しいものを次のうちから選びなさい。 (2024年 三重県公立入試 類似)
1. 島根県

2. 山口県

3. 広島県

4. 岡山県
- 問7 高知県の平野部では、冬から春にかけての温暖な気候や日照時間の長さを利用して、なすやピーマンなどの栽培を通常よりも早める「促成栽培」が盛んに行われています。このような工夫をして農作物を栽培する主な目的として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 群馬県公立入試 類似)
1. 他の産地と出荷時期をずらすことで、需要が高い時期に有利な価格で販売するため

2. 夏場の厳しい暑さを避け、冷涼な気候を好む野菜の品質を維持するため

3. 収穫時期を梅雨の時期と重ねることで、水やりの手間を省き生産コストを下げるため

4. 化学肥料や農薬の使用を最小限に抑え、環境に配慮した農作物をブランド化するため
- 問8 本州四国連絡橋（瀬戸大橋）の開通に関連して、交通の高速化が社会にもたらした仕組みや背景について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2023年 福岡県公立入試 類似)
1. 橋の建設に合わせて周辺の海域がすべて埋め立てられたため、四国地方の深刻な水不足が解消されるきっかけとなった。

2. 高速道路と鉄道が同じ橋を通る併用橋として整備され、人や物の移動の効率化と移動時間の短縮が図られた。

3. フェリーによる海上輸送を完全に廃止し、すべての物流を鉄道輸送に一本化することを目的として建設された。

4. 瀬戸内海沿岸に新しい工業団地を造成するために、橋の橋脚を利用した大規模な水力発電所の建設が行われた。
- 問9 瀬戸内海沿岸の地域における気候の特色と、そこから生じた讃岐平野の土地利用の背景について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 大阪府公立入試 類似)
1. 対馬海流の影響で冬でも温暖であり、雨も多いため、広大な土地を開拓して大規模な水田地帯が形成された。

2. 中国山地と四国山地によって季節風が遮られ、年間降水量が少なく乾燥しやすいため、農業用水を確保するためのため池が数多く作られた。

3. 季節風によって運ばれる湿った空気が直接吹き込み、梅雨や台風の影響で水害が多いため、集落の周囲に輪中と呼ばれる堤防が築かれた。

4. 冬に北西から吹く季節風が雪をもたらすため、農業ができない冬の期間にビニールハウスを利用した促成栽培が発達した。
- 問10 石見銀山に関する歴史的・地理的な特徴の説明として最も適切なものを、次のうちから1つ選びなさい。 (2026年 徳島県公立入試 類似)
1. 東海地方の静岡県に位置し、江戸幕府が成立した直後に銀が枯渇してすぐに閉山しました。

2. 四国地方の高知県に位置し、主に銅の産出地として明治時代の殖産興業を支えました。

3. 東北地方の岩手県に位置し、金鉱床とともに大規模な機械化採掘が戦国時代から行われました。

4. 中国地方の島根県に位置し、産出された銀は海外にも輸出されて世界経済に影響を与えました。
- 問11 2015年度の統計において、東京との間の移動手段の利用割合を調査したところ、航空機が35.8パーセント、バスが5.0パーセントであるのに対し、鉄道が59.2パーセントと半数を超えている県があります。このデータが示す県として正しいものを次から選びなさい。 (2018年 愛媛県公立入試 類似)
1. 岡山県

2. 北海道

3. 福岡県

4. 沖縄県
- 問12 中国地方の人口分布の特徴について述べた文として、正しいものはどれか。 (2019年 佐賀県公立入試 類似)
1. 日本海側の山陰地方にある島根県や鳥取県では人口密度が低く、瀬戸内側の広島県や岡山県では人口密度が高い。

2. 中国山地に近い県ほど人口密度が高く、日本海側や瀬戸内海側の沿岸部では人口密度が低くなる。

3. 中国地方5県のうち、最も面積が広い島根県の人口密度が最も高く、広島県の人口密度は最も低い。

4. 日本海側の山陰地方にある島根県や鳥取県では人口密度が高く、瀬戸内側の広島県や岡山県では人口密度が低い。
- 問13 日本の中国地方を構成する県のうち、県名と県庁所在地の名称が異なっている県はどれですか。最も適切なものを答えなさい。 (2020年 千葉県公立入試 類似)
1. 岡山県

2. 鳥取県

3. 山口県

4. 島根県

答え合わせ・解説

問1	答え 1 他の産地の出荷が少なく市場価格が高騰する時期を狙い、高い利益を得るため	野菜の市場価格は、需要と供給のバランスによって決まります。なすの出荷量が全国的に減少する冬から春の時期は、供給が不足するため1キログラムあたりの平均価格が上昇します。高知県はこの時期に合わせた出荷を行うことで、高い販売価格を維持し、農業の収益性を高める戦略をとっています。これは温暖な気候とビニールハウスなどの施設を組み合わせた生産体制によって実現されています。
問2	答え 3 厳島神社	広島県に位置する厳島神社は、潮の満ち引きによって海の上に浮かんでいるように見える独創的な配置が特徴です。1996年に原爆ドームとともに世界文化遺産に登録されました。選択肢にある姫路城は兵庫県、金閣寺は京都府、白川郷は岐阜県と富山県にまたがる遺産であり、海上に鳥居を持つのは厳島神社のみです。
問3	答え 1 香川県	香川県は四国地方の北東部に位置しており、日本の47都道府県の中で最も面積が小さい県です。かつては大阪府が最小でしたが、埋め立てによる面積増加や国土地理院の算定方法の変更により、現在は香川県が最小となっています。瀬戸内海の気候により降水量が少なく、ため池が非常に多いことも地理的な特徴です。
問4	答え 2 海を隔てた府県間を高速道路の橋で直結し、徳島県と近畿地方を結ぶ動線となっている	徳島県と兵庫県の間には海がありますが、高速道路の橋によって直接つながっています。この交通網の整備により、フェリーなどに頼っていた以前と比べて、徳島県から兵庫県を含む近畿地方への移動時間が短縮され、生鮮食品の輸送などの物流面でも非常に大きな役割を果たすようになりました。
問5	答え 4 瀬戸内海沿岸の温暖な気候に恵まれ、水はけが良く日当たりの良い傾斜地が多いから	愛媛県のみかん栽培は、温暖な気候に加え、地形的な利点を活用しています。果樹、特にみかんは日当たりが良く水はけの良い土地を好むため、瀬戸内海や宇和海に面した傾斜地が栽培に最適です。このように、自然環境を巧みに利用することで、年間収穫量12万トンを超える全国有数の果樹地帯が形成されました。
問6	答え 3 広島県	広島県は、自動車産業を中心とした輸送用機械工業が非常に盛んな県です。統計データにおいて輸送用機械工業の割合が突出している点は、広島県の工業の大きな特徴です。一方、山口県は石油化学コンビナートによる化学工業、島根県は特殊鋼などの生産による鉄鋼業が比較的大きな割合を占めるという違いがあります。
問7	答え 1 他の産地と出荷時期をずらすことで、需要が高い時期に有利な価格で販売するため	高知県で行われている促成栽培は、黒潮の影響を受けた温暖な気候を活かし、他の地域が生産できない冬から春にかけて出荷することを目的としています。市場に出回る量が少ない時期に出荷することで、競争を避け、高い販売価格を得るという経営上のメリットがあります。
問8	答え 2 高速道路と鉄道が同じ橋を通る併用橋として整備され、人や物の移動の効率化と移動時間の短縮が図られた。	瀬戸大橋は、上部に高速道路、下部に鉄道が通る「道路・鉄道併用橋」として建設されました。これにより、自家用車やトラックだけでなく、JRの快速列車や特急列車による迅速な移動が可能になりました。この交通インフラの整備は、本州と四国の経済的な一体化を促進する重要な背景となりました。
問9	答え 2 中国山地と四国山地によって季節風が遮られ、年間降水量が少なく乾燥しやすいため、農業用水を確保するためのため池が数多く作られた。	日本の気候区分において「瀬戸内の気候」は、季節風が周囲の山地によって遮られるため、全国的に見ても降水量が少ないことが最大の特徴です。この地形的な背景により、香川県の讃岐平野では慢性的な水不足に悩まされてきました。その解決策として、雨水を貯蔵して灌漑（かんがい）に利用する「ため池」が発達し、現代でもこの地域特有の景観を作り出しています。他の選択肢にある「輪中」は濃尾平野、「促成栽培」は高知平野などの特徴です。
問10	答え 4 中国地方の島根県に位置し、産出された銀は海外にも輸出されて世界経済に影響を与えました。	石見銀山は中国地方の島根県に位置しています。戦国時代から江戸時代初期にかけて大量の銀が産出され、アジアやヨーロッパなど海外にも輸出されて世界的な商業や経済に大きな影響を与えました。
問11	答え 1 岡山県	東京から各都市への移動手段の選択には、所要時間が大きく関係しています。一般に「4時間の壁」と呼ばれ、新幹線での所要時間が4時間以内であれば鉄道が、それを超えると航空機が有利になる傾向があります。岡山県は東京から新幹線で約3時間強の距離にあり、空港への移動や待ち時間を含めた航空機との比較において鉄道の利便性が高いため、鉄道が約6割という高いシェアを占めています。これに対し、北海道や福岡県は航空機の割合がより高くなります。
問12	答え 1 日本海側の山陰地方にある島根県や鳥取県では人口密度が低く、瀬戸内側の広島県や岡山県では人口密度が高い。	中国地方は、中国山地を境として北側の山陰と南側の瀬戸内に分かれます。瀬戸内側は、平地が広がり気候が温暖であることや、瀬戸内工業地域として産業が発達していることから、広島県や岡山県を中心に人口が集中し、人口密度が高くなっています。対して、山陰地方の鳥取県や島根県は、地形的制約や過疎化の影響もあり、人口密度が低い傾向にあります。
問13	答え 4 島根県	中国地方にある鳥取県、岡山県、山口県は、いずれも県名と同じ名称の都市（鳥取市、岡山市、山口市）に県庁が置かれています。これに対し、島根県は松江市に県庁が置かれており、全国的にも数少ない「県名と県庁所在地名が異なる県」の一つです。都道府県名と県庁所在地名の不一致は、中学地理における重要事項です。